

「新緑の七滝を訪ねよう」開催！！

6月12日(日) 学習館主催イベント「新緑の七滝を訪ねよう」を開催いたしました。

当日は、時々雨も混じる曇り空。それでもハルゼミの鳴き声が“ジリジリジリ…”とひびきわたる中、美しい新緑を味わいながら七滝を目指しトレッキングに汗を流しました。途中、「県民の森に親しむ会」よりお招きした講師の方から様々な植物について説明を受けると、みなさんとても関心した様子で、森の楽しさを改めて感じていただくことができたようです。

さて、古い書物には岩手山に七つの滝があると書かれているそうです。上から数えて七番目がこの七滝なのだから。しかし、実際に七つあるのかどうか、調べた人も調べた結果もありません。なんだかまさに七不思議の残る、それでいてとても雄大な七滝なのでした。



レンゲツツジの前で記念撮影



みなさん真剣…！？

新緑の中を突き進みます…



「七滝」

*** ギャラリーはみなさんの展示広場です ***

学習館2階ギャラリーは、みなさんの展示広場です。写真・絵画などの作品や、物置にしまっていた珍しい「モノ」など、誰でも展示ができますのでお気軽にお問い合わせください。6月は、松尾村の「八幡平押し花アート教室」の講師 倉野美智子さんと生徒さん方による作品を展示したほか、プロとして活動を広げている岩手町在住 武田吉孝さんによる野鳥のイラスト展を同時開催いたしました。



武田さんのイラストは細部まで正確に表現され、まるで写真のようです。



押し花の新しい形！アートとしての押し花に、きっと心奪われることでしょう。



県民の森流 楽しいお勉強シリーズ ~ 似たもの同士 ~

「ハルジオン」と「ヒメジョオン」

今季節、どこに行ってもよく見かけるこの2種類の花。みなさんは、どっちがどっかわかりますか？今回は、「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんが著した冊子から抜粋して皆さんにご紹介いたします。さあ、比べてみましょう！

茎の断面
中心詰まっている



ヒメジョオン

茎の断面
中心からっぽ



ハルジオン

葉を抱く

	ヒメジョオン	ハルジオン
花期	6月～10月	4月～8月
茎を折ってみると...	白い髓が詰まっている	空洞。中心がからっぽ
茎の葉	茎を抱かない	茎を抱く
根元の葉	花の頃枯れる	花の頃も残る

いま、県民の森では...

今、希樹園が楽しい！
クリンソウの群落も希樹園でご覧いただけます。



最近、様々な植物に「たまご」が産みつけられています。泡をつけたり葉を丸めたり、虫たちの苦勞が見られます。何のたまごだろう…？

県民の森は、今、新緑の季節。初夏の陽気と梅雨のみずみずしさに、森の緑が輝いています。ハルゼミの鳴き声もたくさん山にこだましています。

滝を見に行きませんか？「七滝」までは普通に歩くと片道約1時間半のトレッキングコースです。途中、森深い場所ならではの植物も見られます。



ササバクラン



ヨケイラン

広場の草刈を行いました。そろそろボタンが咲きますよ。

木をよ～く見てみよう。ハルゼミの抜け殻を発見できるかもしれない！！

ダッチオープンで野外料理をはじめよう

バイクドポテト

材料(4人分、約500円)

じゃがいも、バターまたはサワークリームなど

じゃがいも以外でも、さつまいも、やまいも、さといもなどいろいろなもので挑戦してみよう！



じゃがいもをよく洗い、芽を取り除く。
ダッチオープンの中にじゃがいもを入れる。ダッチオープンの中の炭は少量でよい。ほとんどの炭をフタの上のせる。

ポイント

ダッチオープンは下からの熱源が少なくても、フタからの熱が全体に伝わるので問題ありません。今回の場合は、いもが直接なべ底に触れているため、下に炭を置きすぎると焦げてしまいます。

時々じゃがいもを転がして全体をまんべんなく焼き上げる。

箸を刺してスッと刺さるようになったら出来上がり。



鈴木アキラ著「ダッチオープン&燗製入門」山と溪谷社 より

野外料理教室のご案内

7月17日(日)～18日(月・祝)

1泊2日でキャンプをしながら野外料理教室を行います。このコーナーで紹介しているダッチオープンも使用した楽しい料理教室です。お問い合わせは森林ふれあい学習館まで！！

「フォレストI」の、これが木になる！

みんなは、フォレストIの床材が何の木でできているか知っているかな？
…使用しているのは、岩手県産のアカマツ。アカマツは岩手県産の木でもあり、県内で最も多く植林されている木なんだよ。
足あたりが優しく、冬に稼働させる床暖房もとても心地よく感じるんだ。
ちなみに玄関に入ってすぐの床は、クリの木を使っているよ。アカマツよりも、硬くひんやりとした感覚を受けるはず。ぜひ、比べてみてね。



しんはっけん
森発見!! 「県民の森」の歩き方

「県民の森だより」より、毎回「楽しい」自然観察をご提案しています。
気負わずに森へ出かけてみませんか? ぜひ、県民の森でたくさんの森発見(しんはっけん)をしてください!

「雨の日の観察」...雨が降ると、せっかく出かけようと思っていたのに...とがっかりすることありますよね?
でも、そんな時もぜひ県民の森へ遊びに来ててください。雨の日にしか見られないものに出会うことができますよ。
カッパを着て長靴をはいたら、さあ雨の森を探検しに出かけましょう!



7月の行事予定

- 6月26日(日)
木工教室「丸型テーブル」
- 7月1日(金)～7月末
フォレストiギャラリー
「素晴らしき哉!松尾村 写真展」
- 7月17日(日)
木工教室「テーブル付き長いす」
- 7月17日(日)～18日(月・祝)
「野外料理教室」
(「キャンプ」をしながら野外料理に挑戦!)
- 7月28日(土)～29日(金)
岩手県緑の少年団大会
- 7月29日(金)～8月1日(月)
「自然展 夏・山路の花と野辺の花」
(「県民の森に親しむ会」共催行事)

本の森へようこそ

毎回、フォレストIの蔵書の中から1冊ずつご紹介していくこのコーナー。
今回おすすめする本はこちら!

「野外毒本」 山と渓谷社

なにかと山や野原に出かける機会が増えるこの季節。
自然は楽しいことばかりではありません。危険な生き物や植物もたくさん生息しています。私たちは、そんな生き物たちをただ排除するのではなく、自ら自然とかかわることを避けるのではなく、被害に遭わないための、あるいは被害に遭ったときの処置法を理解しうまく自然と付き合っていくことが大切だと思います。
この本は、被害実例をもとにさまざまな危険生物と対処法を解説しています。
必ずためになる1冊です。



編集後記

6月に入ってから、虫が一気に増えたような気がします...
写真を撮って歩くのも一苦労。最近は県民の森パトロールに虫除けスプレーが手放せません。
指を刺され、おでこを刺され、それでもはりきって写真を撮り歩いているおです。

7月開花予報

初旬～中旬 ヤマボウシ、ブタナ、ノアザミ、
オトギリソウ、ヒメジョオン
中旬～下旬 オオマツヨイグサ、オオバユリ、
ゲンノショウコ、イワガラミ などなど
オニグルミ、ヤマブドウなど結実が始まる樹木も...

県民の森だより



vol.3 H17年7月号
発行 ... 岩手県県民の森

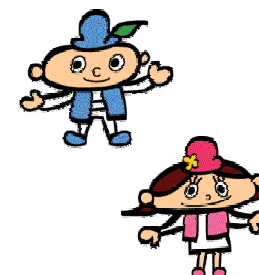


ヤマツツジ (ツツジ科ツツジ属)

県民の森はレンゲツツジも有名ですが、こちらはヤマツツジ。
結実すると、ひとつの果実に500～1000粒もの種子ができますが、このうち正常に発芽するのはごくごくわずかだけ。
その理由のひとつに「連鎖障害」という現象があげられます。母株の下や枯れた株の跡では、ある期間、同じ植物が生長できなくなるとい現象です。そのため、人為的に発芽させると3～5年で開花するものが、自然界では10～20年も要すると考えられているそうです。
自然界では、人間界とは違うゆっくりゆっくりとした時間が流れているようです。

「週刊日本の樹木 ツツジ・シャクナゲ1」 学習研究社より

岩手県 県民の森管理事務所 **森林ふれあい学習館**
フォレストi



〒028-7302
岩手県岩手郡松尾村寄木1-515-5
TEL・FAX 0195-78-2092
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1006/foresti/>
E-mail BA0005@pref.iwate.jp
foresti@mist.ocn.ne.jp (直通)

